

# RCMベースのスタンバイUPFセッションマネージャソケット準備のトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、RCMベースの導入で対応するrcm-checkpointmgrポッドへのソケット接続が欠如しているスタンバイUPFセッションマネージャタスクについて説明します。

## 背景説明

このドキュメントでは、ソケット対応の問題が発生するStandby User Plane Function(UPF)セッションマネージャタスクの散発的な発生について説明します。Redundancy Configuration Manager(RCM)ベースのUPF導入では、対応するrcm-checkpointmgrポッドへのソケット接続が不足しています。

## 問題

スタンバイUPFでは、セッションマネージャタスクインスタンス10にrcm-checkpointmgrポッドへのソケット接続がありません。

```
[local]UPF# show rcm checkpoint statistics verbose
smgr      state  peer  recovery  pre-alloc  chk-point  rcvd  chk-point  sent
inst      state  conn  records   calls      full      micro full      micro
-----  -
1         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
2         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
3         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
4         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
5         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
6         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
7         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
8         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
9         Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
10        Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
11        Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
12        Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
13        Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
14        Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
15        Stby  Ready  0         0         0         0         0         0
```

16	Stby Ready	0	0	0	0	0	0
17	Stby Ready	0	0	0	0	0	0
18	Stby Ready	0	0	0	0	0	0
19	Stby Ready	0	0	0	0	0	0
20	Stby Ready	0	0	0	0	0	0
21	Stby Ready	0	0	0	0	0	0
22	Stby Ready	0	0	0	0	0	0

## 解決方法

現在の回避策：

- スタンバイUPFセッションマネージャとそのrcm-checkpointmgrポッド間のソケット通信の問題に対処するには、次の手順を実行します。
- 対応するスタンバイUPFにログインします。
- デバッグモードに入ります(cli test-commands password <password>)。
- rcm-checkpointmgrへのソケット接続なしで、影響を受けたセッションマネージャタスクに対して、「task kill facility sessmgr instance <instance-id>」を実行します。
- 1分待ってから、セッションマネージャタスクに安定したソケット接続がReady状態になっていることを確認します。
- 問題が解決しない場合は、スタンバイUPFのリポートを検討し、UPFが完全に動作可能になった後で再度チェックしてください。

パーマネント フィックス:

- 導入環境でのTCP強化機能の実装を確認できます。この機能は、セッションマネージャタスクとrcm-checkpointmgrポッドの間にハートビートメカニズムを導入し、必要に応じてソケット接続が再確立されるようにします。詳細については、『[Redundancy Configuration Manager -Configuration and Administration Guide, Release 2022.04](#)』を参照してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。